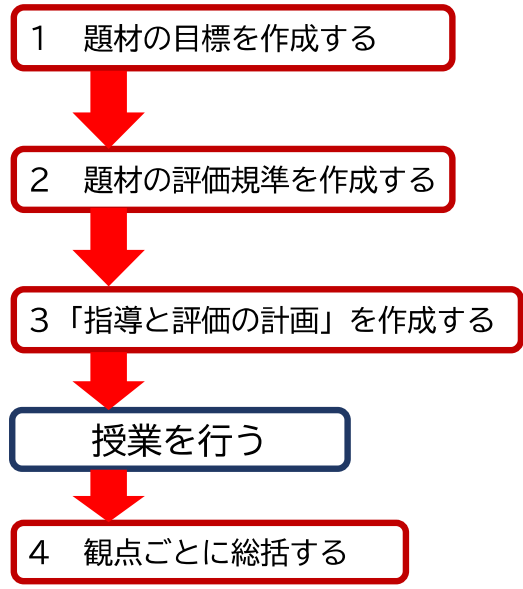


指導と評価の一体化



【評価の進め方】 ※学習評価に関する参考資料（中学校 技術・家庭）P39・P81



学習指導要領の目標や内容、学習指導要領解説等を踏まえ作成する。
生徒の実態、前題材までの学習状況等を踏まえ作成する。

※ 題材の目標及び評価規準の関係性（イメージ）については下図参照

題材の目標及び評価規準の関係性について（イメージ図）

学習指導要領 第1編第2章1（2）を参照
「内容のまとまりごとの評価規準」

学習指導要領解説等を参考に、各学校において授業で養成を目指す知識・能力を明確に。
「内容のまとまりごとの評価規準」の考え方を踏まえて作成

題材の目標 第3編第1章とを参照
題材の評価規準

※ 全国教科書及び学習指導要領についてはこの限りではない。

1、2を踏まえ、評価場面や評価方法等を計画する。
どのような評価資料（生徒の反応やノート、ワークシート、作品等）を基に、「おはね満足度」把握（B）と評価するかを考えたり、「努力を要する」状況（C）への手立て等を考えたりする。

3に沿って観点別学習状況の評価を行い、生徒の学習改善や教師の指導改善につなげる。

集めた評価資料やそれに基づく評価結果などから、観点ごとの総合的評価（A、B、C）を行う。

3 指導と評価の計画（第1学年 20時間）

時間	学習活動	評価規準の例	評価方法の例
指導事項	※口は取り上げる学習内容例を示す	知識・技能	思考・判断・表現 主体的に学習に取り組む態度
1	・3年間の学習の見通しをもつ。		①耐震補強器具に込
A(1)	・社会や生活で使用されている耐震補強器具に		
イ			
3	・木材、金属などの材料の特性に関する実験・観察を行う。	②木材や金属などの材料の特徴と使用方法を説明できる	
A(1)		◇ワークシート	
ア		◇ペーパーテスト	
4	・製作品の強度や構造、切削、切断等に関する実験・観察を行う。	③製作品の構造や強度と、主な加工の特徴を説明できる	⑤進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けよ
A(1)			
ア			

3観点を

記録に残す観点別学習状況の評価については、**毎回の授業で全ての観点について行うのではなく、把握できる段階で評価を行う。無理なく評価でき、後の学習活動に生かすことができるよう配慮する。**

いつ

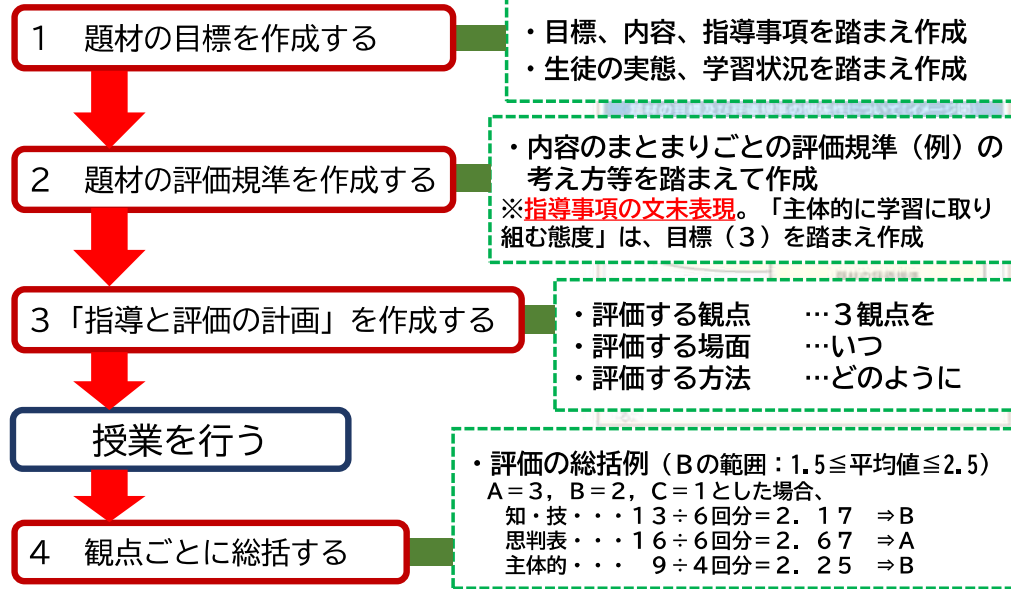
どのように

題材 「材料と加工の技術によって、安全な生活の実現を目指そう～オーダーメイド耐震補強器具を開発しよう～（第1学年）」

指導と評価の一体化



【評価の進め方】 ※学習評価に関する参考資料（中学校 技術・家庭）P39・P81



3観点を

①物資・サービスの選択・購入、自立した消費者としての消費行動について問題を見いだして課題を設定している。
・学習カード

一連の学習過程

題材 「自立した消費者となるために（第3学年）」

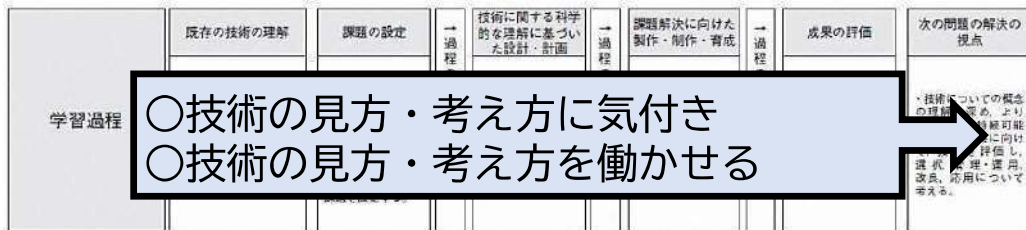
指導と評価の一体化

学習指導要領解説 P.23,65

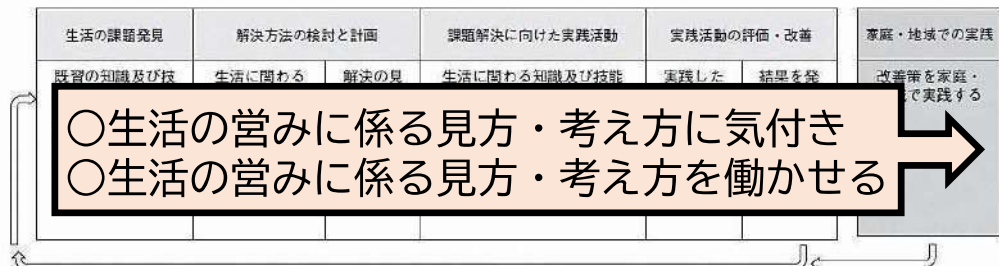


◆「思考・判断・表現」の評価

■技術分野の学習過程と、各内容の三つの要素及び項目の関係



■家庭、技術・家庭科（家庭分野）の学習過程の参考例



※上記に示す各学習過程は例示であり、上例に限定されるものではないこと

3 指導と評価の計画（第1学年 20時間）

時間	・学習活動	○：評価規準の例	◇：評価方法の例
指導事項	※□は取り上げる学習内容例を示す	知識・技能	思考・判断・表現
1	・3年間の学習の見直しをもつ。 ・社会や生活で使用される		①耐震補強器具に込められた工夫を読み取り、材料と加工
2			
A(1)			
イ			
3			
A(1)			
ア			
4			
A(1)			
ア			

⑤進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
◇ワークシート

どう評価をすればよい？

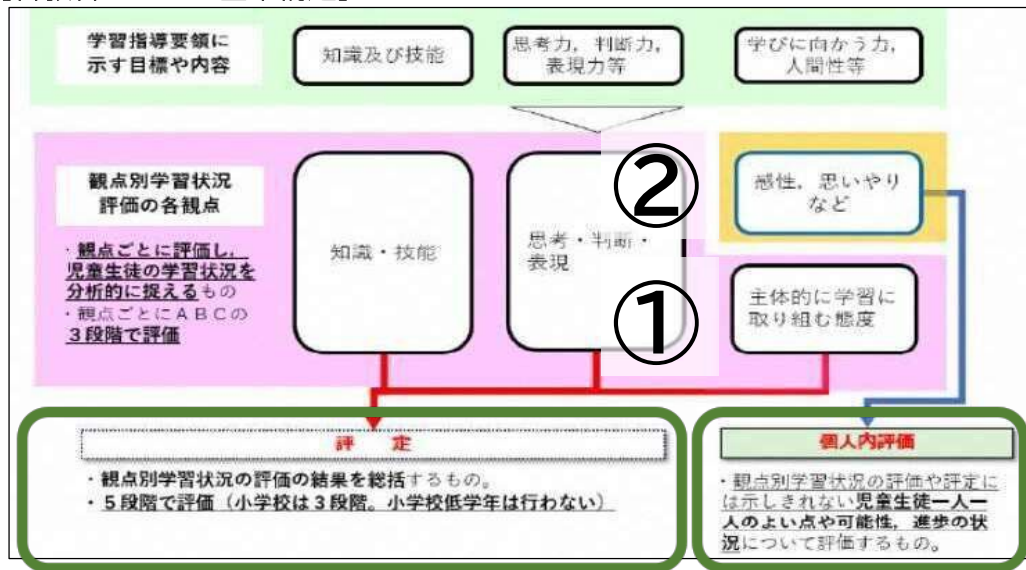
⑤進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。
◇ワークシート

指導と評価の一体化



◆「主体的に学習に取り組む態度」の評価

【各教科における基本構造】※学習評価に関する参考資料（中学校 技術・家庭）P8

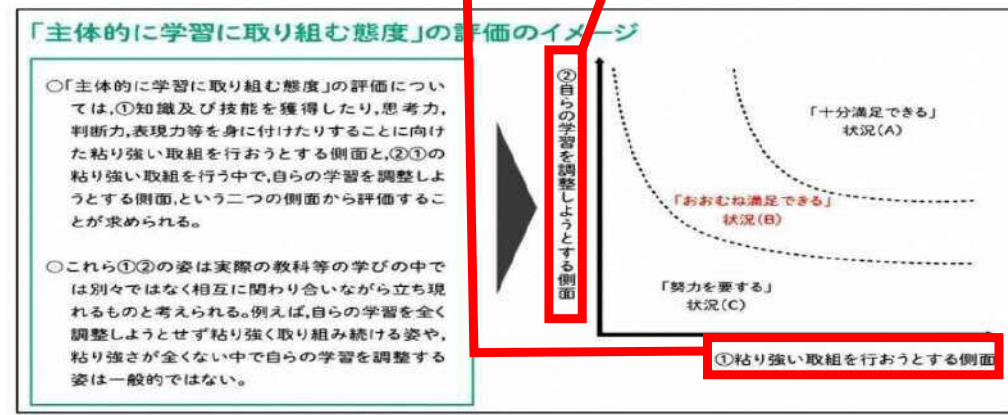


指導と評価の一体化



◆「主体的に学習に取り組む態度」の評価

「主体的に学習に取り組む態度」については、知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしているかどうかを含めて評価する。



指導と評価の一体化



相互に関わり合いながら立ち現れるもの
 NG: 自らの学びを調整せず粘り強く取り組み続ける姿
 NG: 粘り強く取り組まない中で自らの学習を調整する姿

粘り強い取組の中で、**自らの学習を調整**

「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

○「主体的に学習に取り組む態度」の評価については、①知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組を行おうとする側面と、②①の粘り強い取組を行う中で、自らの学習を調整しようとする側面、という二つの側面から評価することが求められる。

○これら①②の姿は実際の教科等の学びの中では別々ではなく相互に関わり合いながら立ち現れるものと考えられる。例えば、自らの学習を全く調整しようとせず粘り強く取り組み続ける姿や、粘り強さが全くない中で自らの学習を調整する姿は一般的ではない。

②自らの学習を調整しようとする側面

児童生徒が自らの理解の状況を把握できるように

- ・発問の工夫
- ・考えの記述方法を工夫
- ・話し合いの場面の工夫
- ・他者との考えの比較の工夫

↑
 題材などの内容のまとまりの中で、位置づける

①粘り強い取組を行おうとする側面

時	題材名	主な学習内容	月日	ふりかえり
1	ガラス	①の視点・考え方		⑤進んで材料と加工の技術と関わり、主体的に理解し、技能を身に付けようとしている。 ◇ワークシート
2				
①粘り強い取組を行おうとする側面 ②自らの学習を調整しようとする側面				
4	②材料の性質比			どのようなことを生徒は振り返ればよいのでしょうか
5	生活や社会を生きる材料・加工			①ふりかえりの記入について【例示】 ○できたこと、分かったこと 【知識・技能】 ○でき方、分かり方 【思考力・判断力・表現力】 ○生活や社会に生かしたいこと 【主体的に取り組む態度】 （・これからの授業や家庭で解決したいこと）
6				
7				

指導と評価の一体化

- 既存の年間カリキュラムの見直しをする。
 ⇒ 指導計画作成上の配慮事項を要確認
- 「指導と評価の一体化」のための学習評価に関する参考資料を熟読する。
 ⇒ 「思考・判断・表現」や「主体的に学ぶ態度」の評価の在り方の理解
- 指導と評価の計画を作成する。
 ⇒ 年間指導計画に書き込む等の工夫

